エコアクション21

環境経営活動レポート

レポート対象期間：2023年4月1日　～　2024年3月31日

発行日：2024年 4月23日

有限会社　日栄カラー

目　　次

1　組織の概要　・・・・・・・・・　P1

2　実施体制　・・・・・・・・・　P2

3　環境経営方針　・・・・・・・・・　P3

4　環境経営目標　・・・・・・・・・　P4

5　環境経営活動計画　・・・・・・・・・　P5

6　環境経営目標の実績　・・・・・・・・・　P6

7　環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容　・・・・・・・・・　P7

8　当社の取組　・・・・・・・・・　P9

9　環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果　・・・・・・・・・　P10

10　代表者による全体の評価と見直し結果　・・・・・・・・・　P11

組織の概要

1)事業者名　　有限会社　日栄カラー

2)代表者氏名　　八木　栄樹

3)所在地　　静岡県藤枝市高柳4-13-25

4)事業活動　　建設業　（　塗装工事、防水工事、とび・土工工事、板金工事、左官工事、
内装仕上工事、屋根工事、タイル・レンガ・ブロック工事業　）

5)従業員数　　3名

6)環境管理責任者　大窪　真生

活動事務局　　大窪　真生

7)連絡先　　TEL　054-636-3838
FAX　054-636-3817
E-mail　nichiei-kara@ca.thn.ne.jp

8)建設業許可　　静岡県知事許可（般-30）第29049号(令和5年4月26日から令和10年4月26日)

許可業種　（　塗装工事、防水工事、とび・土工工事、　板金工事、左官工事、
内装仕上工事、屋根工事、タイル・レンガ・ブロック工事業　）
産業廃棄物収集運搬業許可（自社運搬のみ）　第161108号
（令和3年7月29日から令和8年7月28日）

9)事業の規模
①設立（現在地）　1991年4月（法人化）

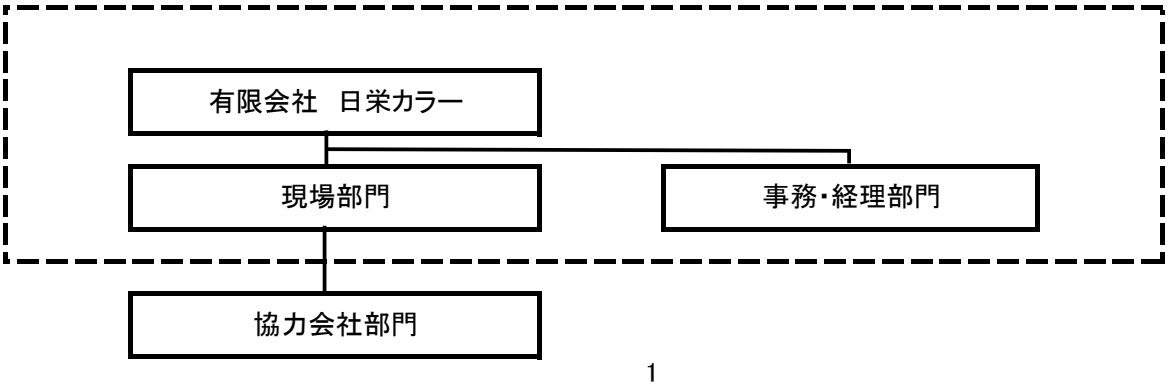
②事業規模

活動規模	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	52	79	36	122	45	47
従業員	人	4	4	3	3	3	3
事務所床面積	㎡	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2
倉庫床面積	㎡	100	100	100	100	100	100

10)事業年度　　4月1日～翌年3月31日

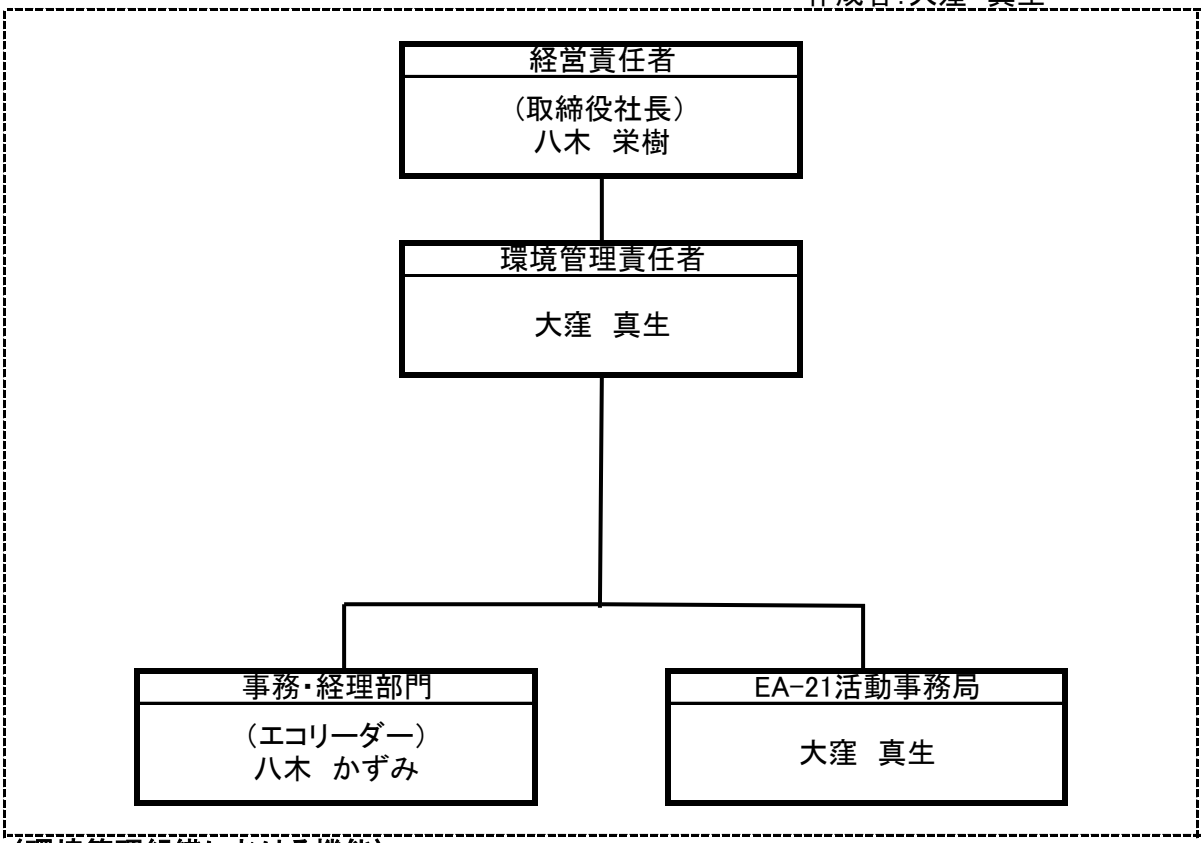
11)認証・登録の対象範囲

対象組織・活動：全社・全活動



実　施　体　制

作成日：2020年4月
作成者：大窪　真生



〈環境管理組織における機能〉

経営責任者

①環境経営全般に対しての責任と権限
②環境経営方針の制定・改定と社員への周知
③全体の評価見直し・指示
④実施体制の構築
⑤経営資源の準備

環境管理責任者

①環境経営活動の推進
②環境目標及び環境計画の作成
③環境経営推進会議の実施
④経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

①各部門データのまとめ
②活動計画の予実績管理
③環境負荷・環境への取り組みの自己チェックの実施
④環境管理責任者の補佐
⑤法規制最新版管理
⑥文章・記録の管理

各部門

①環境計画の実施
②月別部門データの集計
③問題点の把握と是正の実施
④推進会議の出席
⑤従業員教育

全従業員・協力会社

環境活動の推進

環　境　経　営　方　針

有限会社　日栄カラー
環境経営方針

基本理念

有限会社日栄カラーは、塗装工事、防水工事、とび・土工工事を営む事業所として節電、省エネ環境配慮塗料を主力とし、常に環境保全を考え、環境経営の継続的改善を行いながら、積極的に環境汚染防止と共に経費削減に努めます。

環境経営方針

1　環境に配慮した工事の推進に努める。

2　化学物質の適正管理に努める。

3　節電、節水、省エネルギーを推進し、排出される二酸化炭素排出量を削減する。

4　廃棄物の発生を抑制し、発生した廃棄物のリサイクル向上に努める。

5　環境に関する法規制を遵守します。

6　全社員が環境方針を理解し、それを周知徹底すると共に
　この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し環境経営システム
　を継続的に改善します。

制定年月日　　2017年9月1日
改定年月日　　2022年5月17日

有限会社　日栄カラー

取締役社長　　八木　栄樹

環 境 経 営 目 標

1.2023年度及び運用期間（2023年4月　～ 2024年3月）の環境経営目標

項　目		単位	運用期間 2023年4月 ～2024年3月	
			目標削減率等	目標値等
二酸化炭素排出量		$kg-CO_2$	−1.0%	9,566
内訳	購入電力	kWh	−1.0%	4,330
	ガソリン	L	−1.0%	2,476
	軽油	L	−1.0%	684
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	−1.0%	排出量把握
	産業廃棄物排出量	t	−1.0%	8.13
水道使用量の削減		㎥	−1.0%	569
化学物質使用量		−	使用量の把握	使用量の把握

2.短期・中期の環境経営目標

項　目		単位	2016年度～2021年度基準年	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量		$kg-CO_2$	9,663	−0.5%	−1.0%	−1.5%	−2.0%
内訳	購入電力	kWh	4,374	−0.5%	−1.0%	−1.5%	−2.0%
	ガソリン	L	2,501	−0.5%	−1.0%	−1.5%	−2.0%
	軽油	L	691	−0.5%	−1.0%	−1.5%	−2.0%
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	-	排出量把握			
	産業廃棄物排出量	t	8.21	−0.5%	−1.0%	−1.5%	−2.0%
水道使用量の削減		㎥	575	−0.5%	−1.0%	−1.5%	−2.0%
化学物質使用量		kg	使用量の把握	使用量把握			

1 .「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力ミライズ（2022年度）の調整後排出係数「0.377$kg-CO_2/kWh$」を使用した。

環境経営活動計画

取組期間：　2023年4月1日　～　2024年3月31日

目的	区分	項目	活動項目	責任者	スケジュール（月）											
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
環境配慮工事	現場		①水性塗料への提案	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②遮熱塗装の推進		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③有機溶剤の利用削減と保管状況の確認	責任者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
化学物質の適正管理	事務祖現場		化学物質を適正に保管し、使用時においても漏洩しない様努める	事務局リーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリーン購入の促進	事務所		①コピー用紙の再生紙使用	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②エコマーク商品の優先的購入		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現場		①塗装工具などの再利用	リーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②ビニール養生から布養生へ変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二酸化炭素排出量の削減	ガソリン軽油	社用車作業車リース車	①不必要なアイドリングの禁止	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②不必要な積み荷を降ろし軽くする		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③急発進・急加速の禁止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			④冷暖房を控えめにする	リーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑤タイヤ空気圧のチェック		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	購入電力	照明	①不要な照明の消灯	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		空調	①温度設定は適温に設定	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②クールビズ・ウォームビズ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③フィルターの定期清掃		－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	○
			④使用してない部屋の空調停止		－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑤扇風機の併用		－	－	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－
		塗装機器	①作業中以外エンジン停止	リーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②始業前点検		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		充電工具	過充電禁止	リーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
節水排水量の削減	事務所		①節水を心がける	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②漏水のチェック（検針票で）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現場		①節水をこころがける	リーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃棄物排出量の削減	事務所		①コピー用紙の両面使用	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②集約化購買		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③FAX用紙の削減		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			④廃棄物の分別とリサイクル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑤封筒の再利用	リーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑥コピー機のトナーリサイクル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			⑦メモ用紙は使用紙使用		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	現場		①ダンボールのリサイクル	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②発泡スチロールのリサイクル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			③瓶・缶等の分別リサイクル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			④ポリ製内容器の再利用	リーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域貢献	現場		地域清掃・カーブミラー清掃等	リーダー	適宜											

環 境 経 営 目 標 の 実 績

運用期間（2023年4月～2024年3月）実績

項　目		単位	基準期間	運用期間				
			2016年度～2021年度	2023年4月～2024年3月				
			基準値	目標削減率等	目標値等	実績削減率等	実績値等	評価
二酸化炭素排出量		$kg-CO_2$	9,663	1.0%	9,566	−44.1%	5,346	◎
内訳	購入電力	kWh	4,374	1.0%	4,330	12.8%	4,886	×
	ガソリン	L	2,501	1.0%	2,476	−43.0%	1,411.4	◎
	軽油	L	691	1.0%	684	−87.0%	88.76	◎
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	-	−	排出量の把握	−	排出量の把握	○
	産業廃棄物排出量	t	8.21	1.0%	8.13	−19.2%	6.57	◎
水道使用量の削減		㎥	575	1.0%	569	8.6%	618	△
化学物質使用量		kg	使用量の把握	−	使用量の把握	−	適正管理に努める	○

※評価の基準　◎大変よく達成　○達成　△少し努力　×頑張りが必要

〈原因分析・是正処理〉

購入電力の増加については事務作業の増加による照明、事務機器、空調設備使用時間が増加していることによるものだと考えられる。作業効率化により事務作業時間を減らして消費電力減を目指したい。
また、水道使用量の増加については、高圧洗浄時の水使用量が多く、会社内水道管の漏水が原因と考えられる。
現場での水使用状況の確認、漏水チェックをしっかりと行っていきたい。

環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目的	区分	項目	活動項目	責任者	評価	今後（次年度）の取り組み 内容
二酸化炭素排出量の削減	ガソリン軽油	社用車作業車リース車	①不必要なアイドリングの禁止	事務局リーダー	○	習慣化
			②不必要な積み荷を降ろし軽くする		○	習慣化
			③急発進・急加速の禁止		○	習慣化
			④冷暖房を控えめにする		○	習慣化
			⑤タイヤ空気圧のチェック（点検時）		○	習慣化
			⑥エコカーに変更		○	変更済
	購入電力	照明	①不要な照明の消灯	事務局	○	習慣化
			②LED照明の導入		○	導入済
		空調	①温度設定は適温に設定	事務局	○	継続
			②クールビズ・ウォームビズ		○	継続
			③フィルターの定期清掃（年2回）		○	継続
			④使用してない部屋の空調停止		○	習慣化
			⑤扇風機の併用		○	継続
		塗装機器	①作業中以外エンジン停止	リーダー	○	習慣化
			②始業前点検		○	習慣化
		充電工具	過充電禁止	リーダー	○	継続
節水排水量削減	事務所		①節水を心がける	事務局	○	習慣化
			②漏水のチェック（検針票で）		○	継続
	現場		①節水をこころがける	リーダー	○	習慣化
グリーン購入の促進	事務所		①コピー用紙の再生紙使用	事務局	○	継続
			②エコマーク商品の優先的購入		○	継続
	現場		①塗装工具などの再利用	リーダー	△	溶剤使用時、塗装用具洗浄により廃シンナー量が増える
			②ビニール養生から布養生へ変更		○	継続

環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目的	区分	項目	活動項目	責任者	評価	今後（次年度）の取り組み内容	
廃棄物排出量の削減	事務所		①コピー用紙の両面使用	事務局リーダー	○	習慣化	
			②集約化購買		○	継続	
			③FAX用紙の削減		○	継続	
			④廃棄物の分別とリサイクル		○	習慣化	
			⑤封筒の再利用		○	継続	名刺・封筒の再生紙化
			⑥コピー機のトナーリサイクル		○	継続	
			⑦メモ用紙は使用紙使用		○	習慣化	
	現場		①ダンボールのリサイクル	事務局リーダー	○	習慣化	
			②発泡スチロールのリサイクル		○	習慣化	
			③ポリ容器・缶・等の分別リサイクル		○	習慣化	
			④ポリ製内容器の再利用		○	継続	
環境配慮工事	現場		①水性塗料への提案	事務局リーダー	○	継続	
			②遮熱塗装の推進		○	継続	
			③有機溶剤の利用削減と保管状況の確認		○	継続	
化学物質の適正管理	事務所現場		化学物質を適正に保管し、使用時においても漏洩しないように努める	事務局リーダー	○	継続	
地域貢献	現場		地域清掃・カーブミラー清掃等		○	継続	
備考	1　取組評価は2023年4月1日　～　2024年3月31日までの1年間の評価 2　評価判定は、　○　△　×　の3段階で行った 3　活動計画の見直しは2024年4月に行う。						

当 社 の 取 組

消化設備の点検と更新

環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果

1　環境関連法規の遵守状況

棟事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守確認日　2024年4月
遵守確認者　　大窪真生

法規・条例・規則	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業者との委託契約	契約書の締結	○
	マニフェストの管理	書面管理	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	保管時には留意する	○
	保管場所への掲示	60*60cm以上掲示	○
	マニフェストの年間集計と県知事への報告	6月30日までに提出	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管（5年間）	○
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実績報告書	－
騒音・振動規制法	特定作業規制 地域住民との取り交わし	指定地域・時間帯規制	－
家電リサイクル法	指定家電の廃棄	テレビ・冷蔵庫　他	－
PCリサイクル法	OA機器の廃棄	パソコン・モニタ　他	－
環境基本法	一般的な自主努力	－	○
地球温暖化対策推進法	事業者の責務（温室効果ガス排出の抑制に努める）	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
自動車リサイクル法	取引業者への引き渡し	リサイクル料金の支払い	－
消防法	第4類第一石油類、第二石油類	シンナーの保管5缶まで、ガソリン専用携行缶に入れ保管2缶まで	○
粉塵障害防止規則	ケレン作業	作業に適した防塵マスク等の着用徹底	○
有機溶剤中毒予防規則	塗装作業	有機溶剤の含まれる塗料使用時防毒マスク着用	○
特定化学物質障害予防規則	ケレン作業	作業に適した防毒マスク等の着用	○
鉛中毒予防規則	ケレン作業	作業に適した防毒マスク等の着用	○
浄化槽法	保守点検及び清掃の実施	維持管理契約の締結	○

2　違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

作成・指示　2024年4月

1・見直し関連情報	項　目	確認　:（必要に応じて評価・コメント記載）
	1　エコアクション21文章	☑　記録・文書として作成
	2　環境経営目標及び目標達成状況	☑　未達成の目標は原因要因をよく把握して目標の立て方を検討
	3　環境経営活動計画及び取り組み実施状況	☑　継続して取り組みます
	4　環境関連要求一覧及び遵守状況	☑　記録・文書として作成
	5　外部コミュニケーション・対応記録	☑　苦情無し
	6　問題点の是正・予防措置の実施状況	☑　今年度無し
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☑　今年度無し
	8　その他（　　）	□

2・代表者による全体評価・見直し指示

環境経営目標数値はほぼ達成できているが、仕事量の影響も大きいと考えられる。
購入電力の未達は事務作業の増加によるOA機器、空調設備の使用時間増によるものであり、その反面、移動や発電機等によるガソリンの使用量が減っている。
昨年度に基準値の再設定を行ったが、実績値との比較を行い、取組や数値の見直しも考え活動を継続していきたい。

2024年　4月 23日

有限会社　日栄カラー

取締役社長　八木　栄樹

見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1　環境経営方針	有・(無)	
2　環境経営目標	有・(無)	
3　環境経営活動計画	有・(無)	
4　環境に関する組織	有・(無)	
5　その他のシステム要素	有・(無)	
6　その他（外部への対応）	有・(無)	